

赤外線サーモグラフィ試験 新規受験申請時の訓練実施記録の書き方 (レベル 1・レベル 2)

新規受験申請時に必要となる訓練実施記録の作成方法についての手順を
Step1～4 で説明します。

Step1 受験する TT レベルに必要な訓練時間を確認してください。

受験申請を行う条件として、レベルごとに訓練時間が下表のように規定されています。

NDT 方法略称	レベル 1	レベル 2	
		レベル 1 資格所有者	レベル 1 資格非所有者
TT	40 時間	80 時間	120 時間

- ・ 訓練実施記録は、認証事業本部の指定する専用用紙を使って作成してください。
(NDIS 0604 赤外線サーモグラフィ試験の頁からダウンロード出来ます。)
- ・ 赤外線サーモグラフィ試験の訓練(講習会)は当協会でも実施しています。協会 HP の「教育活動・講習会」の頁で日程、詳細を確認し、計画的に訓練を受けてください。
【教育活動・講習会ホームページアドレス】
<http://www.jsndi.jp/education/index1.html>

※訓練者について※

訓練者は**相応の技量がある事が要求されますので、TTレベル2以上の有資格者が望ましいですが、2012年春期試験よりTTレベル1から試験制度が開始されましたので、TTレベル2以上の有資格者による訓練が実施できません。**よって「訓練責任者」が「訓練者」について**相応の技術・知識があると判断した場合は、「訓練責任者」**を置いて訓練実施記録を作成してください。

※TTレベル1有資格者が訓練者の場合も同様に訓練責任者を立てて訓練を行ってください。
(記入例は訓練 A (訓練責任者をおいた例) Page 5/8 頁を参照)

- ※訓練者……………相応の技量がある訓練者
- ※訓練責任者……………訓練者の技量及び申請者が受けた TT 訓練について全責任をもてる方

訓練者と訓練責任者は同一人物は認められません。

Step2 受験申請書に添付する訓練実施記録を用意してください。

訓練実施記録は、受験申請書提出時に必要な添付書類です。受験申請書提出日からさかのぼって5年以内の訓練日のものが有効となります。従って、訓練実施記録の中に訓練実施日が5年以上経過した箇所があれば、その部分に限っては訓練時間の対象とはなりません。

(1) 協会（他協会含む）や公共団体、その他団体の講習会を受けた場合

講習会の主催団体に訓練実施記録を発行してもらってください。

記載例については→[訓練 A \(Page5/8 参照\)](#)

(2) 社内訓練の場合（注：申請者自身による自己学習は訓練時間として認められません）

社内訓練とは、社内の訓練者が教育シラバスに基づいて計画的に訓練を実施し、自社で訓練実施記録を作成する場合をいいます。

記載例については→[訓練 A \(Page5/8 参照\)](#)

(3) 他会社の訓練を受けた場合

他会社の訓練とは、社内に訓練できる技術者がいない場合に、他社の技術者に教育シラバスに基づいた訓練を依頼した場合等が該当します。依頼した訓練者に訓練実施記録を作成してもらってください。

記載例については→[訓練 A \(Page5/8 参照\)](#)

※2か所以上の訓練機関で訓練を受けた場合

2か所以上の訓練機関にて訓練を受けるなどして、訓練実施記録が2枚以上になる場合、**訓練実施記録集計表**にそれぞれの訓練実施記録の時間を集計していただき、新規受験申請書、訓練実施記録と共に提出してください。

記載例については→[訓練実施記録集計表を利用する \(Page6/8\) 参照](#)

※1か所の訓練機関で訓練時間を満足する場合は、訓練実施記録集計表の提出は不要です。

協会 HP にてご案内しております

- ・ T T 訓練の訓練内容は**認証事業本部が指定する教育シラバスに基づいて行ってください。**教育シラバスの詳細は協会 HP NDISO604 赤外線サーモグラフィ試験案内の頁の**赤外線サーモグラフィ試験教育シラバス**にてご案内しております。
- ・ 訓練実施記録及び訓練実施記録集計表（MS Excel）は**認証事業本部指定**のものになります。協会 HP NDISO604 赤外線サーモグラフィ試験案内の頁から用紙をダウンロードしてください。

Step3 受験申請書に訓練証明書を添付してください。

訓練実施記録は Step2 で説明のように 5 年間使用することが出来ますので、受験申請書に訓練実施記録を添付する際は、次の手順で行い、受験申請書に添付してください。

- (1) 訓練実施記録(原本)をコピーする。(原本は手元に保管してください。)
- (2) コピーした訓練実施記録にボールペン等で訓練を受けた者の署名欄に申請者本人が自筆署名のうえ、押印してください。

訓練実施記録原本を新規受験申請書に間違えて添付して提出した場合、**原本の返却はできません**。次回受験申請をする場合には訓練実施先から取り寄せていただく必要があります。訓練実施先によっては再発行に手数料が発生する場合がありますので、取扱にはご注意ください。

拡大部分

NDT 方法・レベル	TT-レベル1
訓練を受けた者の氏名	非破壊 太郎
訓練を受けた者の署名・押印	印

① 訓練実施記録原本をコピーする。まだ署名・押印欄はこの状態です。

NDT 方法・レベル	TT-レベル1
訓練を受けた者の氏名	非破壊 太郎
訓練を受けた者の署名・押印	非破壊 太郎 非破壊

② コピーした訓練実施記録の「訓練を受けた者の署名・押印」欄に自筆署名、押印をしてください。

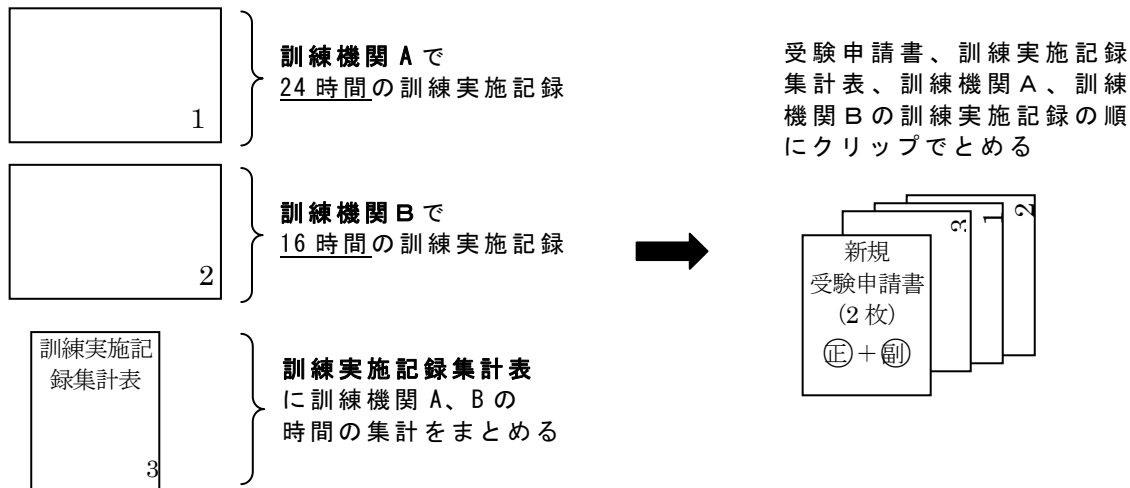
項目	訓練時間(分)	訓練実施日(西暦/月/日)	訓練実施場所	氏名	階級	訓練番号
基礎知識	1.0					
基礎知識の理解	2.0					
基礎知識の応用	2.0					
基礎知識の応用	2.0					
基礎知識の応用	1.0					
基礎知識の応用	2.0					
基礎知識の応用	2.0					
基礎知識の応用	2.5					
基礎知識の応用	1.5					
基礎知識の応用	10.0					
基礎知識の応用	0.5					

新規受験申請書と訓練実施記録のまとめ方

- 1 か所の訓練機関で訓練時間を満足する場合 (訓練実施記録が 1 枚のみの場合)



- 2 か所以上の訓練機関で訓練時間を満足する場合... (訓練実施記録が 2 枚以上ある場合)



Step4 新規受験申請書へ添付した訓練実施記録の訓練内容を入力してください。

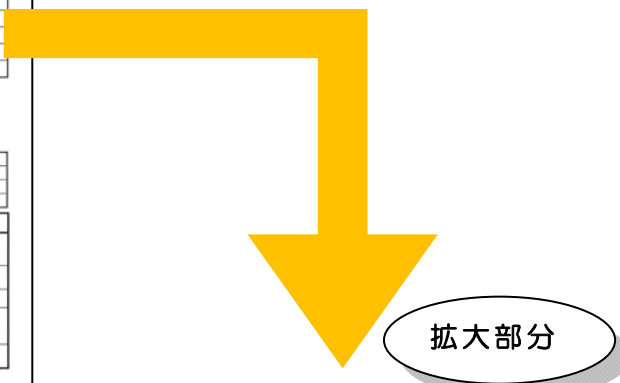
新規受験申請書は協会 HP からダウンロードできます。MS Word 上で申請内容を入力できますので、入力方法等の詳細は**赤外線サーモグラフィ試験新規受験申請書の入力方法**をご確認ください。(受験申請書は①、②、③の3枚をプリントして①、②を提出してください。③は受験申請者本人が保管してください。)

(例) 新規受験申請書に **2012年5月12日から2012年7月21日の間**に実施した**80時間分以上**の訓練実施記録が**2枚以上**添付されている場合。

①申請書提出		②申請書提出		③受験者提出	
正 副 控 JNDI 2013年春期資格試験 用 NDIS 0604 赤外線サーモグラフィ試験 新規受験申請書					
受験申請日(西暦) 2013年1月7日					
試験種別	レベル	NDT方法①	NDT方法②	NDT方法③	一次試験
IO	2	TT	**	**	13
個人コード	P	1234567	性別	1. 男性	生年月日(西暦) 1970年12月09日
勤務先名/フリガナ	(勤務先名)	㈱TTサーモグラフィ検査		(フリガナ)	ティーティーサーモグラフィケイサ
勤務先電話番号	03-5821-5104				業種 01
受験者氏名/フリガナ	(氏名)	非破壊 新太郎	(フリガナ)	ヒハカイ シンタロウ	受験者押印
NAME(ローマ字)	HIHAKAI SHINTAROU				
送付先住所	送付先指定	2	送付先名称	㈱TTサーモグラフィ検査	
	所属部署名	検査部管理課			
	受験者名(又は担当者)	非破壊 新太郎			
	郵便番号	〒 101-0026	都道府県市区部	東京都千代田区	
	町 丁目	神田佐久間河岸		大塚・小塚	
	○丁目番地	67	気付(ビル名等)	TTLビル 8F	
	電話番号	03-5821-5104	FAX番号	03-3863-6522	
	E-mail Address	s-hihakai@ne.jp			
基礎試験合格者レベル3基礎試験合格者のみ入力			基礎試験合格有効期限入力(西暦年月日)		
K *****			20****		
受験申請した最低レベルの証書番号入力			←		
N 12345678					
訓練開始日(西暦)		2012年 05月 12日	訓練終了日(西暦)		2012年 07月 21日
			添付書類枚数		3枚
			合計訓練時間		80時間
●TTレベル1及び2受験者は必ず入力 (訓練先ごとにまとめて入力。2か所以上の訓練先で受講、訓練実施記録が複数枚にわたる場合は訓練実施記録集計表も添付すること)					
訓練先名称		訓練実施日(西暦年月日)		延訓練時間	書類No.
サーモグラフィ検査機関		2012年05月12日～2012年05月19日		40時間	1
赤外線検査訓練所		2012年06月01日～2012年06月02日		12時間	2
日本非破壊検査協会		2012年07月03日～2012年07月21日		28時間	3
		年月日～年月日		時間	
		合計訓練時間		80時間	
<input checked="" type="checkbox"/> 訓練実施記録集計表有り		添付書類合計枚数		4枚	
		訓練実施記録集計表がある場合はそれも含めた枚数			
●TTレベル3受験者のみ入力(該当する欄の□に×を入力して下さい。)					
<input type="checkbox"/> 個人的学習(その学習に使用した参考書名、発行社名を記載した証明書)					
<input type="checkbox"/> 研究・論文発表(その発表を行った場(主催団体名、発表会名)とそのタイトルを記載した証明書)					
<input type="checkbox"/> 書籍・解説等の執筆(その執筆した書籍名、発行社名、タイトル等を記載した証明書)					
<input type="checkbox"/> 講演会、セミナーなどに参加(主催した団体名と会議名又はセミナー名を記載した証明書)					
本受験申請書の記載内容に相違ないことを証明します。					
雇用責任者名	非破壊 三郎	証明日(西暦)	2013年01月06日		
勤務先名	㈱TTサーモグラフィ検査				
所属部署・役職	検査管理課 係長				
勤務先住所	〒 101-0026 東京都千代田区神田佐久間河岸 67 TTLビル 8F				
TEL/FAX	TEL: 03-5821-5104 FAX: 03-3863-6522				

それぞれの訓練実施記録の訓練先名称、訓練実施日、延訓練時間を入力してください。

※訓練先名称とは訓練を行った機関や会社名を指します。「〇〇鉄工所内研修所」や「▲▲ビル土木現場」等の訓練実施場所ではありませんのでご注意ください。



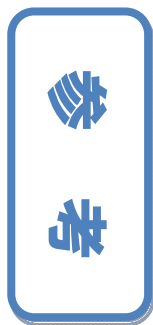
拡大部分

●TTレベル1及び2受験者は必ず入力
(訓練先ごとにまとめて入力。2か所以上の訓練先で受講、訓練実施記録が複数枚にわたる場合は訓練実施記録集計表も添付すること)

訓練先名称	訓練実施日(西暦年月日)	延訓練時間	書類No.
サーモグラフィ検査機関	2012年05月12日～2012年05月19日	40時間	1
赤外線検査訓練所	2012年06月01日～2012年06月02日	12時間	2
日本非破壊検査協会	2012年07月03日～2012年07月21日	28時間	3
	年月日～年月日	時間	
	合計訓練時間	80時間	
<input checked="" type="checkbox"/> 訓練実施記録集計表有り	添付書類合計枚数	4枚	
	訓練実施記録集計表がある場合はそれも含めた枚数		

この例のように訓練実施記録が2枚以上となっている場合、訓練実施記録とは別に**訓練実施記録集計表**を添付する必要があります。
(□にチェックを入れてください。)

●訓練A（訓練責任者を置いた場合）の作成例



赤外線サーモグラフィ試験 レベル1 訓練実施記録

1/1

NDT方法・レベル	TT-レベル1		証明日 年 月 日
訓練を受けた者の氏名	非破壊 新太郎		
訓練を受けた者の署名・押印	非破壊 新太郎		

←受験申請書へ添付する書類は、訓練実施記録の原本をコピーした後に、訓練を受けた者の署名欄へ自筆署名(ボールペン等)、押印をしてください。(訓練記録は5年間有効なため、複数回使用できます。)

訓練内容	訓練内容題目	最低限必要な訓練時間(h)	訓練実施時間(h)	訓練実施日(西暦・月・日)	訓練実施場所	訓練者		
						氏名	押印	保有資格
序論	非破壊検査一般 認証制度	1.0	1.5	2011/4/7	サーモグラフィ検査機関	斉藤 勝		
伝熱工学の基礎	熱、温度、エネルギー 伝熱の3形態	2.0	4.5	2011/4/7	サーモグラフィ検査機関	斉藤 勝		
赤外線工学の基礎	赤外線一般知識 基礎となる物理法則	2.0	2	2011/4/7	サーモグラフィ検査機関	斉藤 勝		
赤外線サーモグラフィ装置	装置の持つ基本的機能	2.0	2	2011/4/7	サーモグラフィ検査機関	山元 祐介		
	画像処理 補助機器							
熱負荷装置の種類	接触による熱負荷	1.0	1.5	2011/4/8	サーモグラフィ検査機関	山元 祐介		
	放射加熱 通電加熱装置 その他の加熱装置							
きず(欠陥・異状)の種類	電気・電子関連 機械設備関連	2.0	1.5	2011/4/8	サーモグラフィ検査機関	山元 祐介		
	プラント設備関連 土木・建築関連 材料評価関連							
測定原理	赤外線サーモグラフィ試験の特徴 断熱温度場検出に基づく方法	2.0	2	2011/4/8	サーモグラフィ検査機関	斉藤 勝		
	その他の方法 アクティブ法とパッシブ法 定性的方法と定量的方法							
測定の実施	試験環境 撮像方法	2.5	1.5	2011/4/8	サーモグラフィ検査機関	斉藤 勝		
	データ処理							
非破壊検査に関する技術文書	技術文書の種類 記録と報告	1.5	1.5	2011/4/8	サーモグラフィ検査機関	山元 祐介		
	用語							
実技	準備、試験、報告	10.0						
	各種試験	6.0	7	2011/4/9	サーモグラフィ検査機関	斉藤 勝		
合計			25	時間				

この訓練について全責任をもつ訓練責任者を置いた場合、この訓練Aのパターンになります。

訓練時間・講義と実技の時間配分確認欄	
最低限必要な講義時間	16.0
最低限必要な実技時間	16.0
必要な訓練時間	40.0
講義と実技の時間配分	
講義	16~24
実技	16~24

訓練機関名称	サーモグラフィ検査機関		
所在地	〒XXX-XXXX 東京都江東区有明1-× 江 ル7階		
訓練責任者	葉山 洋祐		
役職	XXXX部 XXXX課 XXXXXXXX		
連絡先(電話番号/FAX)	電話番号 XX-XXX-XXXX / FAX XX-XXX-XXXX		

●訓練実施記録集計表を利用する

2か所以上の訓練機関で訓練を受けた場合や訓練実施記録が2枚以上になる場合、訓練実施記録とは別に訓練実施記録集計表に訓練時間を集計する必要があります。

赤外線サーモグラフィ試験 レベル1 訓練実施記録集計表

証明日： 2010年7月8日

NDT方法・レベル	TT-レベル1		
訓練を受けた者の氏名	非破壊 新太郎	・複数の訓練機関の訓練実施記録を提出する場合は、本書に訓練を受けた者の氏名を記載し、 ・本書を使用する場合は、訓練を受けた者の署名・押印、及び証明欄への記載・署名・押印が必要です。	
訓練を受けた者の署名・押印	非破壊 新太郎		

訓練内容	訓練内容題目	最低限必要な訓練時間 (h)	訓練実施時間 (h)	訓練機関名称
序論	非破壊検査一般 認証制度	1.0	3	サーモグラフィ検査機関 赤外線検査訓練所
伝熱工学の基礎	熱、温度、エネルギー 伝熱の3形態	2.0	4.5	サーモグラフィ検査機関 赤外線検査訓練所
赤外線工学の基礎	赤外線一般知識 基礎となる物理法則	2.0	4	サーモグラフィ検査機関 赤外線検査訓練所
赤外線サーモグラフィ装置	装置の持つ基本的機能 画像処理 補助機器	2.0	4	サーモグラフィ検査機関 赤外線検査訓練所
熱負荷装置の種類	接触による熱負荷 放射加熱 通電加熱装置 その他の加熱装置	1.0	3	サーモグラフィ検査機関 赤外線検査訓練所
きず(欠陥・異状)の種類	電気・電子関連 機械設備関連 プラント設備関連 土木・建築関連 材料評価関連	2.0	3	サーモグラフィ検査機関 赤外線検査訓練所
測定原理	赤外線サーモグラフィ試験の特徴 断熱温度場検出に基づく方法 その他の方法 アクティブ法とパッシブ法 定性的方法と定量的方法	2.0	4	サーモグラフィ検査機関 赤外線検査訓練所
測定の実施	試験環境 撮像方法 データ処理	2.5	3	サーモグラフィ検査機関 赤外線検査訓練所
非破壊検査に関する技術文書	技術文書の種類 記録と報告 用語	1.5	3	サーモグラフィ検査機関 赤外線検査訓練所
実技	準備、試験、報告	10.0	12	赤外線検査訓練所
	各種試験	6.0	7	サーモグラフィ検査機関
合計			50.5時間	

訓練実施記録添付枚数	◆ 訓練時間・講義と実技の時間配分確認欄 ◆		
2枚	(時間)	(時間合計)	※最低限必要な訓練時間とは一科目につき、少なくともその時間分訓練を受けた時間です。 ※時間合計の欄に講義、実技の合計時間をまとめていただき、必要な訓練時間を満足しているか確認しましょう。
	最低限必要な講義時間	16~24時間	31.5
	最低限必要な実技時間	16~24時間	19
	TT1受験に必要な訓練時間	40時間	50.5

◆ 雇用責任者証明欄 ◆	
雇用責任者名: 非破壊 三部	所在地: 〒101-0026 東京都千代田区神田佐久間河岸67 MBR99E4
勤務先名: (株)サーモグラフィ検査	電話番号: 03-5821-5104 FAX番号: 03-3863-6522
所属: 検査管理課	役職: 代表取締役

- ① 訓練を受けた者の自筆署名、押印をする。
- ② 2か所の訓練機関で受けた訓練時間の合計時間を入力
- ③ それぞれの訓練機関の名称を入力
- ④ 講義時間、実技時間の合計時間を入力し、訓練時間が満足しているか再度確認する
- ⑤ 雇用責任者の証明欄(勤務先等署名、押印)を記入
※雇用責任者とは、申請者が日常働いている組織体の責任者、又はその責任者により業務を委任されている代理者です。

(受験申請時の提出書類)

1 か所の訓練機関または訓練実施記録が 1 枚で訓練時間を満足する場合

● 新規受験申請書 ●
(正・副)2枚提出してください。

● 訓練機関Aで 40 時間分の訓練実施記録 ●
(訓練実施記録は1枚)

①申請書提出 ②申請書提出 ③受験者提出

正 副 控 JSNDI 2013 年春季資格試験 用
NDIS 0604 赤外線サーモグラフィ試験 新規受験申請書

受験申請日(西暦) 2013 年 1 月 7 日

試験種別	レベル	NDT 方法①	NDT 方法②	NDT 方法③	NDT 方法④	一次試験	二次試験	機材選択
10	2	TT	**	**	**	13	13	1

個人コード P 1234567 性別 1. 男性 生年月日(西暦) 1970 年 12 月 09 日

勤務先名/〒(勤務先名) ㈱TTサーモグラフィ検査 〒101-0026 東京都千代田区千代田 1-1-1 101-0026
〒(〒) 〒101-0026 東京都千代田区千代田 1-1-1 101-0026
〒(〒) 〒101-0026 東京都千代田区千代田 1-1-1 101-0026

勤務先電話番号 03-5821-5104

受験者氏名/〒(氏名) 非破壊 新太郎 〒101-0026 東京都千代田区千代田 1-1-1 101-0026
〒(〒) 〒101-0026 東京都千代田区千代田 1-1-1 101-0026
〒(〒) 〒101-0026 東京都千代田区千代田 1-1-1 101-0026

NAME(ローマ字) HIHAKAI SHINTAROU

送付先指定 2 送付先名称 ㈱TTサーモグラフィ検査

所属部署名 検査部管理課

受験者名(又は担当者) 非破壊 新太郎

郵便番号 〒 101-0026 都道府県市区部 東京都千代田区

町 村 神田佐久間河岸 大字・小字

○丁目○番地 67 気付(ビル名等) TTLビル 8F

電話番号 03-5821-5104 FAX 番号 03-3863-6522

E-mail Address s-hihakai@me.jp

基礎試験合格番号(レベル3 基礎試験合格者のみ入力) K ***** 基礎試験合格有効期限(西暦年月日) 20 ** ** ** **

受験申請した直下位のレベルの認定番号入力 N 12345678

訓練開始日(西暦) 2012 年 05 月 12 日 訓練終了日(西暦) 2012 年 07 月 21 日 添付書類枚数 3 枚 合計訓練時間 80 時間

●TTレベル1及び2受験者は必ず入力
(訓練先ごとにまとめて入力。2枚以上の訓練先で受験、訓練実施記録が複数枚にわたる場合は訓練実施記録集計表も添付すること)

訓練先名称	訓練実施日(西暦年月日)	延訓練時間	書類No.
サーモグラフィ検査機関	2012 年 05 月 12 日 ~ 2012 年 05 月 19 日	40 時間	1
赤外線検査訓練所	2012 年 06 月 01 日 ~ 2012 年 06 月 02 日	12 時間	2
日本非破壊検査協会	2012 年 07 月 03 日 ~ 2012 年 07 月 21 日	28 時間	3
	年月日 ~ 年月日	時間	
	合計訓練時間	80 時間	

訓練実施記録集計表有り 添付書類合計枚数 4 枚
訓練実施記録集計表がある場合はこちらに含めた枚数

●TTレベル3受験者のみ入力(該当する欄に×を入力して下さい)
 個人的学習(その学習に使用した参考書名、発行社名を記載した証明書)
 研究・論文発表(その発表を行った場(主催団体名、発表者名)とそのタイトルを記載した証明書)
 書籍・解説等の執筆(その執筆した書籍名、発行社名、タイトル等を記載した証明書)
 講演会、セミナーなどに参加(主催した団体名と会議名又はセミナー名を記載した証明書)

本受験申請書の記載内容に相違ないことを証明します。

雇用責任者名	非破壊 三郎	証明日(西暦)	2013 年 01 月 06 日
勤務先名	㈱TTサーモグラフィ検査		
所属部署・役職	検査管理課 係長		
勤務先住所	〒 101-0026 東京都千代田区千代田 1-1-1 101-0026 〒(〒) 〒101-0026 東京都千代田区千代田 1-1-1 101-0026		
TEL/FAX	TEL: 03-5821-5104 FAX: 03-3863-6522		

2013 年 01 月 07 日 20130101 一般社団法人 日本非破壊検査協会 品質保証部



赤外線サーモグラフィ試験 レベル1 訓練実施記録 1/1

NDT 方法: レベル TT-レベル1
訓練を受けた者の氏名 非破壊 新太郎
訓練を受けた者の署名・押印

※受験申請書へ添付する書類は、訓練実施記録の原本をコピーした紙に、訓練を受けた者の署名(自署署名(ボールペン等)、押印)をしてください。(訓練記録は5年間有効なため、複数回使用できます。)

訓練内容	訓練内容項目	最低限必要な訓練時間(分)	訓練実施日(西暦・月・日)	訓練実施場所	訓練者	
					氏名	押印
理論	非破壊検査一般	1.0	2011/4/7	サーモグラフィ検査機関	斉藤 勝	
	放射線の基礎	2.0	2011/4/7	サーモグラフィ検査機関	斉藤 勝	
赤外線工学の基礎	赤外線一般知識	2.0	2011/4/7	サーモグラフィ検査機関	斉藤 勝	
	基礎となる物理法則	2.0	2011/4/7	サーモグラフィ検査機関	山元 拓介	
赤外線サーモグラフィ装置	装置の持つ基本的機能	2.0	2011/4/7	サーモグラフィ検査機関	山元 拓介	
	検査原理	1.0	2011/4/8	サーモグラフィ検査機関	山元 拓介	
熱負荷装置の種類	接触による熱負荷	1.0	2011/4/8	サーモグラフィ検査機関	山元 拓介	
	放射加熱	2.0	2011/4/8	サーモグラフィ検査機関	山元 拓介	
さび(欠陥・異状)の種類	電気・電子機器	2.0	2011/4/8	サーモグラフィ検査機関	山元 拓介	
	機械設備	2.0	2011/4/8	サーモグラフィ検査機関	山元 拓介	
測定原理	赤外線サーモグラフィ試験の特徴	2.0	2011/4/8	サーモグラフィ検査機関	山元 拓介	
	放射率測定法に基づく方法	2.0	2011/4/8	サーモグラフィ検査機関	山元 拓介	
測定の実施	放射率測定	2.5	2011/4/8	サーモグラフィ検査機関	山元 拓介	
	放射率測定	2.5	2011/4/8	サーモグラフィ検査機関	山元 拓介	
非破壊検査に関する技術文書	記録と報告	1.5	2011/4/8	サーモグラフィ検査機関	山元 拓介	
	測定	1.5	2011/4/8	サーモグラフィ検査機関	山元 拓介	
実技	実地試験	5.0	2011/4/9	サーモグラフィ検査機関	山元 拓介	
	各種試験	5.0	2011/4/9	サーモグラフィ検査機関	山元 拓介	
合計		23 時間				

訓練時間・講義と実技の時間配分確認表

最低限必要な講義時間	16.0
最低限必要な実技時間	16.0
必要な訓練時間	40.0
講義と実技の時間配分	
講義	16~24
実技	16~24

訓練機関名称 サーモグラフィ検査機関
所在地 〒XXXX-XXXX 東京都江東区有明1-1-1 江東ビル7階

訓練責任者 山元 拓介
役職 XXXXX XXXXX
連絡先(電話番号/FAX) 電話番号 XX-XXX-XXXX / FAX XX-XXX-XXXX



1 か所の訓練機関で訓練を受けたり、訓練実施記録が 1 枚で訓練時間を満足する場合は受験申請書(2枚)と訓練実施記録(1枚)の提出のみで結構です。
(訓練実施記録集計表を添付する必要はありません)
※提出物※
新規受験申請書(正・副)2枚 + 訓練機関Aで受けた訓練実施記録(1枚)

